

～題材：歯みがき名人になろう！～

【ねらい】

正しい歯磨きの仕方や歯ブラシの点検の方法などを知り、進んで歯磨きをしようとする。



【写真①：板書】

【学習過程（略案）】

5月28日（月）5校時

過程	主な学習活動	指導上の留意点
つかむ	1 アンケート結果や1分間歯磨きをした汚れチェックを基に問題意識を高める。 ・ どうして磨き残しがあるのかな。 ・ このままだったら、むし歯になってしまう。	○ 1分間歯磨きをし、水を入れた透明のコップで歯ブラシを濯ぐことで、磨き方に問題があることに気付くようにする。
さぐる	2 歯磨きの仕方について話し合う。 ・ 1本ずつちょちょ磨きをするようにしています。 ・ 歯磨き粉を使っています。	○ 自分たちが普段している歯磨きの仕方について話し合わせ、問題意識を高め、めあてにつなげる。
見つける	めあて 正しい歯みがきのしかたをマスターして、歯みがき名人になろう！ 3 正しい歯磨きの仕方やよい歯ブラシの見分け方について養護教諭の説明を聞く。 4 養護教諭に教えてもらったことを基に、正しい歯磨きの仕方について話し合う。	○ 磨き残しが多い箇所を上手に磨くコツや、よい歯ブラシの見分け方など絵カードを提示しながら説明し、理解を深めさせる。
決める	5 これから、どのようなことに気を付けて歯磨きをしていくのか、意思決定する。 ○ 歯科指導時の口内写真を見て磨き残しの多い箇所を確認し、自分に必要な歯磨きの仕方についてワークシートに記入する。 ○ 今日の感想を全体で共有する。	○ 歯科指導時の口内写真を個別に配付することで、自分に必要な磨き方などに気付かせる。 ○ 自分に合っためあてを意思決定できるように指導する。

指導のワンポイント

☆ 子ども一人一人の必要感を高めるための手立て

- 「つかむ」過程での工夫

- ・ 1 分間の歯垢チェック (写真②)

透明のコップを二つ準備し、その中に少量の水を入れ準備する。
次に、1分間歯磨きをさせ、片方のコップに歯ブラシを入れて10
回程度かき回させると、磨き残しがある子どものコップは白く濁る。

- ・むし歯の写真の提示

- 「見つける」過程での工夫

- ・養護教諭による専門的な指導

まず、むし歯になる過程（写真③）について指導した。次に、よい歯ブラシの見分け方や磨き残しが多い箇所を中心とした正しい磨き方を指導した。



【写真③：養護教諭の指導の様子】



【写真④：日内写真】



【写真⑤：チャレンジタイム中の教室掲示】

- 「決める」過程での工夫

- ・染め出し剤による個人の口内写真の配付（写真④）

- ## ○ 事後指導での工夫

- ・チャレンジタイム期間中の呼びかけと資料の掲示

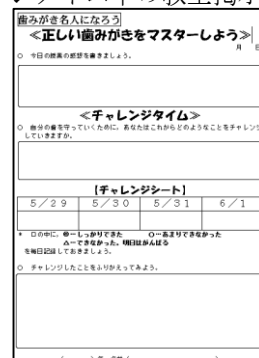
最後の日には、実践を称賛しながら担任が仕上げ磨きを実施した。

☆ 自分に合っためあてを意思決定しやすくするための手立て

- 「見つける」過程での工夫

- ・子どもの実態（口内写真を参考に）を基にした視覚的な資料の提示

- ・養護教諭の指導を基にした全体での正しい歯磨きの仕方を振り返る話し合い



【資料①：ワークシート】

成果

- 子どもにとっての必要感を本時だけではなく、事後指導にもつなげたことによって手鏡を使って歯磨きをしたり、掲示資料を参考にしながら歯磨きをしたりと主体的な子どもの姿が見られた。

アドバイス

- 学校だけで取り組むのではなく、個人の口内写真を家庭に持ち帰らせるなどして保護者にも歯磨きの必要性をつなげていくことができれば、この取組がより持続的なものになると考える。